

平成18年10月17日
北海道大学 大学院工学研究科
米田哲朗・佐藤努

勉強会のご案内

以下のように新進気鋭の若手研究者を招いて勉強会を開催いたします。皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

記

「吸着・溶解現象を定量的に理解するための表面錯体モデリング」

主催：北海道大学 21 世紀 COE プログラム「流域圏の持続可能な水・廃棄物代謝システム」
廃棄物代謝グループ
北海道大学工学部 環境地質学研究室
原子力機構 東京大学 連携重点研究
「放射性廃棄物処分研究のためのネットワーク」 サブグループ 1 1

期日：平成 1 8 年 1 1 月 2 1 日（火）

時間：1 3 : 0 0 - 1 7 : 3 0

場所：北海道大学 工学部 A101 室

スケジュール：

13:00-13:15	表面錯体モデルの良い所・悪い所	佐藤 努（北大）
13:15-13:30	表面錯体モデルとは	福士圭介（金沢大）
13:30-14:30	表面錯体モデル、特に DLM の廃水処理への応用	所 千晴（早大）
14:30-14:45	休憩	
14:45-15:45	放射性廃棄物地層処分における核種の吸着・拡散の取り扱いと表面錯体研究の栄枯盛衰	鈴木 覚（産創研）
15:45-16:30	表面錯体モデル、特に TLM の適用について	福士圭介（金沢大）
16:30-17:30	討論 問題点の整理と今後の研究の進め方 - 表面錯体モデルに明日はあるか? -	

（連絡先：北大工学研究科環境循環システム専攻 環境地質学研究室 011-706-6305）